



すべての子どもたちが
可能性と創造性を発揮し、
自分ものがたりを描ける社会に。

アジアの子どもたちが「自分のものがたり」を描く日のために。

エファジャパンは、戦禍に苦しみ、終戦後も極度の飢餓と貧困に苦しむベトナム、カンボジア、ラオスの人々の姿を、長い間見つめてきました。

紛争の爪痕は、彼らの心と大地に残り、自ら声を上げにくい子ども、女性、高齢者、障害がある人たちに影を落としています。この苦しみ、悲しみ、憎しみは、将来にわたり、負の連鎖として受け継がれていく。それは日々の報道で知るウクライナ紛争のあり方と、なにひとつ変わりません。このような現実を目を背けてはならないと思うのです。

未来を拓きたいと願う子どもたちが、安心して生きられる環境を守りたい。さまざまな価値観と文化に触れながら、その多様性を豊かさとして捉え、共に生きることのできる社会を創造していく。エファはその使命に基づき、アジアの子どもたちが希望と夢に満ちた「自分のものがたり」を描けるよう、努力を続けてまいります。

エファジャパンの組織

支援者

会 員

正会員 121人
シニア会員 61人
賛助会員個人 33人
賛助会員団体 34団体

総 会

(正会員で構成)

- ・エファパートナー
(個人79、団体59)
- ・一般寄付者(個人、団体)
- ・事業指定寄付者(個人、団体)
- ・ボランティア

理事会

理事長	伊藤 道雄	認定NPO法人アジア・コミュニティ・センター21代表理事
副理事長	川本 淳	全日本自治団体労働組合中央執行委員長
理事	学頭 貴子	株式会社日本経済新聞社編集金融・市場ユニット記者
理事	木下 究	公益社団法人東京自治研究センター 研究員
理事	栗本 正則	NPO法人FAIRROAD 副理事
理事	関 尚士	エファジャパン事務局長
理事	高橋 篤	こくみん共済coop自治労共済推進本部 副本部長
理事	玉井 一匡	玉井一匡建築研究所代表
理事	渡戸 一郎	明星大学名誉教授
監事	榎本 朋子	全日本自治団体労働組合総合企画総務局長
監事	宮原 朝香	認定NPO法人ゴールドリボン・ネットワーク事務局長

事務局

事務局長 関 尚士
経理・総務 高田 俊哉
海外事業 鎌倉 幸子
広報・ファンドレイジング
増村 康亮

顧 問

イーデス ハンソン
公益社団法人アムネスティ・インターナショナル日本
特別顧問

2022年3月31日 時点



ご挨拶

平素よりエファジャパンの活動にご理解とお力添えをいただき、心より御礼申し上げます。
新型コロナウイルス感染拡大がはじまって以来2年と半年が経過しました。一筋の明かりが見え始めたとはいえ、今もって感染防止と生活・経済のバランスを取りながらの手探りの日々が続いています。不幸にも命を落とされた多数の方たちがおられるなか、持続可能な開発目標（SDGs）報告2021年によると、2020年には新たに1億1,900万から1億2,400万もの人々が「極度の貧困」へと追いやられました。この増加は過去数十年間で初めてということです。

そして2022年4月24日。世界を驚かせたロシアによるウクライナ侵略は、世界に大きな衝撃を与え影響を及ぼしました。数多くのウクライナ市民が命を奪われ、街は破壊され、若いロシア兵も命を落とし、そしてウクライナから逃れた難民数は700万人を超え、これらの人々はこれからの生活の見通しもついていません。

コロナ感染拡大に加え、世界で多発し続ける戦争や紛争による人道危機。経済・食料危機はより広範な地域に急速に広がり、アフリカの人々を含む世界で最も脆弱な人々への影響はとりわけ深刻で、今後さらに貧富の格差が拡大する恐れがあります。

人類の喫緊の優先課題は戦争・紛争を終焉させ、平和を取り戻し感染拡大と闘うことです。私たち市民一人ひとりが声をあげ、世界の人々と共に政府に働きかけ収束に向けて手を携えていくことから始まります。

エファは、その使命に基づき、すべての子どもたちが安心して生きることができ、希望と夢に満ちた「自分ものがたり」を描けるよう、不断の努力を続けてまいります。2022年度は新5か年計画、「エファビジョン2022-2026」のスタート年です。障害があり、貧困の中にある子どもたちに一層光をあて、そうした子どもたちが力強く生きることができるよう、サポーターの皆さまと共に努力してまいります。

本年度も引き続き変わらぬご理解とご支援を宜しくお願い申し上げます。

特定非営利活動法人エファジャパン

理事長 伊藤 道雄

【エファジャパンが実現したい社会（ビジョン）】

- ▶すべての子どもたちが可能性と創造性を発揮し、自分ものがたりを描ける社会に。

【エファジャパンの使命（ミッション）】

- ▶どんな困難な状況にあっても、未来を拓きたいと願うアジアの子どもたちに、教育を通じて生きる力を培います。
- ▶アジアの開発途上国の障害がある子どもたちが、安心して生きられる環境を家族やコミュニティと共に創ります。
- ▶さまざまな価値観と文化に触れ、多様性を豊かさとして捉え、アジアの子どもたちが、共に生きることのできる社会づくりに、地域の人々と取り組みます。

【エファジャパンの行動指針（バリュー）】

- ▶一人ひとりの違いを認め合い、尊びます。
 - ▶つつみこみ、みまもり、みとめあう家族、コミュニティの力を支えます。
 - ▶選択肢という可能性を生みだし、広げます。
 - ▶最適な“情報”、“居場所”を届けるために、より良い手段を考え抜きます。
 - ▶自らが変わろうとする意志と行動を応援します。
 - ▶共に歩み、学び、成長します。
-



01

ラオス

| 2021年度活動報告 | 各図書館の運営・管理を支援

■ ビエンチャン都立図書館運営支援

ラオスの公共施設の開館時間は、平日9時から16時までです。2021年度は仕事帰りの人や学生が利用できるようにするために、16時から18時、週末は9時から12時の開館延長を実施しました。それとともなって職員へ時間外手当を支給しました。

首都ビエンチャンがロックダウンになった時期があり、その結果、2021年の利用者数は5,119人と2020年（利用者数：18,376人）の半分以下でしたが、都民の学びを支える拠点としてソーシャルディスタンスを徹底しながら開館しました。

なお2021年は、ビエンチャン都立図書館開館から15年目にあたる年です。15年間のデータを収集・分析したり、インタビューを行ったりして評価報告

書としてまとめました。

■ 学校図書館・図書室運営支援

2021年4月から2022年2月まで、新型コロナウイルス感染症の影響で学校が休校となり、児童は自宅待機・自宅学習を余儀なくされました。この間、郡を超える移動に制限がかかっていたため、本の配布などは学校が再開された2月以降に行うことになりました。

2021年度はビエンチャン都およびサワンナケート県にある8つの小学校の図書館・図書室の運営支援として、絵本を中心に図書930冊を配布。また2年前に図書室を設置した4校については、ラオス国立図書館の職員が追加の技術指導を行っています。

困難を抱える子どもたちへ、生きるために必要な情報に触れる機会提供を

■ 図書管理システム導入支援

ラオスの公共図書館は、まだ図書館システムが導入されていない館が多く、図書館員は貸出・返却の記録を手書きのノートで管理しています。蔵書を検索ができるコンピューターがないため、利用者は本の有無を図書館員に聞く必要がありました。

そこで、ラオスの北部にあるシェンクワン県およびサヤブリー県の県立図書館への図書管理システムの導入を支援しました。システムがインストールされたPCおよび必要な備品一式を配布するだけでなく、図書館員がスムーズに利用できるように、ラオス国立図書館職員による研修会を行いました。

また研修会后、モニタリングを実施し、追加の技術指導を実施しています。



■ 思考とスキル向上のための 読書推進プロジェクト

2021年9月より「ラオス子どもの家財団」と協働で、障害がある子どもたちと少数民族の子どもたちを対象とした事業を開始しました。

このような子どもたちが多い学校を対象とした読書推進活動により、障害がある子どもたちが文字の読み書きだけでなく、生きるのに必要な情報に触れる機会をつくるのが目的です。

2021年度は、ラオス子ども財団の施設内にモデルとなる図書室を設置しました。



01 ドンクワイ村小学校図書館モニタリング / 02 ビエンチャン都立図書館 /
03 図書管理システム導入研修会 / 04 タートン村小学校図書館モニタリング

ラオスの来期活動：各図書館の管理システム導入を支援

2022年度はベトナム国境にあるファパン県立図書館への図書管理システムの導入支援を行います。それにより都市部（ビエンチャン都、ビエンチャン県）、地方部（シェンクワン県およびサヤブリー県）、そして辺境部への導入が行われるこ

とになります。

また2021年度に行ったビエンチャン都立図書館評価に基づき、都立図書館だけでなく、図書館を管轄しているビエンチャン都情報文化観光局とも、今後の図書館のあり方について協議する予定です。



01

カンボジア

| 2021年度活動報告 |

学業上の困難に対する支援を実施

■ 国立幼稚園教員養成学校の奨学金支援

カンボジアでは、幼稚園教員の資格が取れる教員養成学校が首都プノンペン市にしかありません。エファは2021年度、地方の高校を優秀な成績で卒業しながらも、経済的に困窮しているため進学を断念しなければならない学生14人を対象に、奨学金による支援を行いました。

■ プノンペン市およびプレアビヒア州

児童保護施設支援

カンボジアには、経済的な理由などで保護者に育児放棄された子どもたちがいます。エファは彼らを預かっている児童保護施設の運営を支援中です。

プノンペン市で22人、プレアビヒア州で45人の子どもたちが、児童保護施設で寝泊まりをしながら、学校に通っています。2021年度は、子どもたちの

文房具や教科書、日用雑貨などを支援しました。

■ プレアビヒア州の奨学金支援

中学校がない辺境地に暮らしていて、経済的な事情により退学の危機にある学業優秀な子どもたち3人に、2021年度の奨学金を支給しました。この奨学生たちは児童保護施設にて生活をしながら、元気に中学校へ通っています。

■ 国境地帯のノンフォーマル(学校外)教育支援

プレアビヒア州はタイとの国境にあり、内戦中は長らくポル・ポト派の支配下に置かれていました。そのため公教育の整備が立ち遅れ、いまだに小学校がない村も存在します。

そのような5つの村に、子どもたちに読み書き、計算を学ぶことができるノンフォーマル教育を受け

障害がある子どもたちにも、夢が語れるような環境を

られる寺子屋を設置しています。エファは2021年度、寺子屋で学ぶ380人の子どもたちへの文房具支援、寺子屋の先生に対する給与補填を行いました。

■カンダール州学童保育所支援

2021年度、カンダール州バンテアイデック村の学童保育所で働くスタッフの給与を支援しました。バンテアイデック村は工場で働いている家庭が多いこともあり、この学童保育所は親が仕事に行っている間、子どもたちが遊び、学ぶことができる場所となっています。

■カンボジア農村部の障害児の ライフスキル向上プロジェクト

2021年9月に、首都プノンペン市から150キロ離れたカンポット州にある3つの集合村にチルドレン・スタディ・クラブを開設しました。このクラブには障害がある子どもたち30人が放課後に集い、学ぶ場となっています。

エファは、クラブに通う子どもたちに生活に役立つ情報を届けるため「子どもの権利条約」「公衆衛生」などのワークショップを開催しました。また、障害があっても担うことのできる仕事として、家庭菜園のトレーニングを開催。保護者も一緒に受講してもらいました。

クラブ開設直後はずっと下を向いていた子どもたちですが、「大きな声で黒板の字を読むようになった、夢を語るようになった」との報告が届いています。



02



03



04

01 プレアビハ州カンビン村寺子屋教室 / 02 国立幼稚園教員養成学校 / 03 ノン
フォーマル教育(寺子屋)への文房具支援 / 04 プノンペン市児童保護施設物資配布

カンボジアの来期活動：2022年度は各事業をさらにアップデート

「カンボジア農村部の障害児のライフスキル向上プロジェクト」では障害がある子どもたちが通うモデルとなる図書館を整備し、そのための教材開発などにも力を入れていきます。

児童保護施設、カンダール州学童保育所、ノンフォーマル教育の各事業はカンボジアのNGOで

あるSCADP (Street Children and Development Program) と共同で実施しています。これまで行ってきた事業の振り返りと、現在の現地ニーズの調査を行い、今後の協働事業について見直しや発展させていく予定です。



ベトナム

| 2021年度活動報告 |

70人の成績優秀者に奨学金支給

■「アジア子どもの家」奨学金事業

「アジア子どもの家」事業は、1999年よりハイフォン市に500万円を委託し、その受取利子を運用して奨学金を提供しています。本奨学金基金の目的は、ハイフォン市児童保護基金が管理し、経済的に貧しいながらも優秀な成績を収めている子どもたちに奨学金を支給するためにあります。

2021年度は、70人に一人当たり約5,000円の奨学金と、文房具一式を贈呈しました。

■ハイフォン市障害児支援事業

2014年から2018年まで5か年にわたり、ハイフォン市障害児支援事業として運営支援していた「障害児クラブ」総括を、2019年度に行っています。その後、新型コロナウイルス感染症の影響で渡航制限がかかったため、総括の結果報告と今後の話し合いが保留されていました。

2021年度も、渡航の見通しが立たないことから、カウンターパートであるハイフォン市ソーシャルワークセンター（SWC）へ書面報告、ならびに今後についての協議を行いました。

ベトナムの来期活動：障害児クラブは2021年度で事業終了

アジア子どもの家奨学金事業では、71人の子どもたちに奨学金と文房具一式の支給を行う予定です。

ハイフォン市障害児支援事業については、エファから総括で示された残された課題と教訓を踏まえ、

障害児クラブ事業の定着と発展のため事業継続提案を行いました。しかしながら、SWCからは「発達障害児の支援に移行したい」との意向が示され、最終的な協議の結果、障害児クラブは本振り返りをもって事業終了となりました。



日本国内

| 2021年度活動報告 |

エファ初のクラウドファンディングを実施

■クラウドファンディング・募金事業

エファ初のクラウドファンディング「生きる力向上プロジェクト！カンボジア障害児とお母さんに教育を」を2022年3月1日から3月30日までの間で実施しました。合計で144人、また3つの企業・団体の皆さまから、1,522,000円もの寄付をいただきました。

また「夏募金キャンペーン」と「歳末募金キャンペーン」も実施。総額1,913,530円のご支援となりました。

■リサイクル募金・グッズ販売事業

リサイクル募金ではハガキ、切手、古本、CD、DVDなどのご支援をいただき、総額409,053円となりました。

またエファ支援国の女性や障害がある方が製作した布製品などを現地で仕入れ、「エファグッズ」として販売。注文をいただいた自治労県本部のお名前を入れたトートバックも販売し、こちらは総額382,500円のご支援となっています。

■集会・イベント事業

2021年6月総会後にオンラインイベント「ラオスNOW・エファNOW」を開催しました。ラオス国立図書館、当法人ビエンチャン事務所、東京の総会会場を結び、意見交換などを実施しました。

また夏休みオンラインイベントとして、自治労組合員のご家族向け企画・オンラインでのサマーキャンプを8月に展開しました。

日本国内の来期活動：イベントを積極的に開催予定

2021年度施策は、2022年度も引き続き実施いたします。クラウドファンディングや募金キャンペーンは、目標額をアップ。さらなる告知活動を展開していきます。

また、新型コロナウイルス感染症の感染状況を見ながらではありますが、イベントの実施・参加を積極的に行います。2022年度は、企画を一新し、エファ主催のイベントを実施していく予定です。

会計資料

2021年度決算報告

貸借対照表

特定非営利活動法人エファジャパン
全事業所

[税込] (単位:円)
2022年 3月31日 現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		未 払 金	564,913
商品券	1,500	預 り 金	212,683
現 金	204,692	雇用保険	(43,497)
一般会計	(32,118)	源泉所得税	(169,186)
収益事業	(172,574)	未払法人税等	70,000
普通 預金	33,075,823	流動負債 計	847,596
中央労働金庫	(27,606,925)	【固定負債】	
三菱UFJ	(4,490,786)	退職給付引当金	1,227,900
ラオス外貨預金	(27,812)	固定負債 計	1,227,900
三菱UFJ (収益)	(950,299)	負債合計	2,075,496
三菱UFJ銀行2	(1)	正 味 財 産 の 部	
郵便振替口座	1,215,034	【一般正味財産】	
定期 預金	1,227,900	前期繰越正味財産額	34,663,046
現金・預金 計	35,724,949	当期正味財産増減額	1,894,164
(売上債権)		【一般正味財産】 合計	36,557,210
未 収 金	324,157	正味財産合計	36,557,210
売上債権 計	324,157		
(棚卸資産)			
棚卸 資産	149,468		
貯 蔵 品	40,187		
棚卸資産 計	189,655		
(その他流動資産)			
前払 費用	278,000		
仮 払 金	675,945		
その他流動資産 計	953,945		
流動資産合計	37,192,706		
【固定資産】			
(投資その他の資産)			
敷 金	1,440,000		
投資その他の資産 計	1,440,000		
固定資産合計	1,440,000		
資産合計	38,632,706	負債及び正味財産合計	38,632,706

【貸借対照表の注記】

正味財産中、用途等が制約された寄付金（指定正味財産）は 2,037,214円です。計算書類の注記3でその内訳を報告します。

2021年度活動計算書①

活 動 計 算 書

[税込] (単位：円)

特定非営利活動法人エファジヤパン

自 2021年 4月 1日 至 2022年 3月31日

【経常収益】

【受取会費】

正会員受取会費	1,368,000	
シニア会員受取会費	318,000	
賛助会員受取会費	300,000	
団体賛助会員受取会費	<u>1,460,000</u>	3,446,000

【受取寄付金】

受取寄付金		36,811,302
-------	--	------------

【受取助成金等】

受取助成金		2,465,716
-------	--	-----------

【事業収益】

エファク`ッス`・カンホ`シア	6,600	
エファク`ッス`・ラオス	17,900	
エファク`ッス`・国内	<u>358,000</u>	382,500

【その他収益】

受取 利息	387	
雑収入	<u>37,670</u>	<u>38,057</u>

経常収益 計

43,143,575

【経常費用】

【事業費】

(人件費)

給料 手当(事業)	10,625,793
通 勤 費(事業)	218,005
法定福利費(事業)	1,721,695
福利厚生費(事業)	<u>87,088</u>
人件費計	<u>12,652,581</u>
賞与(事業)	<u>1,246,636</u>

(その他経費)

売上 原価	241,073
リース料 (事業)	136,081
業務委託費 (事業)	6,485,014
広告宣伝費 (事業)	1,187,932
印刷製本費(事業)	637,864
会 議 費(事業)	50,232
新聞図書費 (事業)	256,702
旅費交通費(事業)	305,341
車 両 費(事業)	126,570
通信運搬費(事業)	485,252
消耗品 費(事業)	74,353
水道光熱費(事業)	259,975
地代 家賃(事業)	2,392,346
保 険 料(事業)	22,623
諸 会 費(事業)	52,743
租税 公課(事業)	1,896
交際費 (事業)	25,684
支払手数料(事業)	<u>177,596</u>

2021年度活動計算書②

活 動 計 算 書

[税込] (単位:円)

特定非営利活動法人エファジャパン

自 2021年 4月 1日 至 2022年 3月31日

その他経費計	12,919,277	
事業費 計		26,818,494
【管理費】		
(人件費)		
給料 手当	7,134,925	
賞与	779,922	
退職給付費用	395,700	
通勤費	193,842	
法定福利費	1,458,491	
福利厚生費	113,828	
人件費計	10,076,708	
(その他経費)		
印刷製本費	380,299	
会 議 費	11,110	
旅費交通費	8,532	
通信運搬費	593,534	
消耗品費	117,774	
備品費	172,568	
水道光熱費	111,416	
地代 家賃	990,000	
理事会・総会運営費	145,280	
保 険 料	14,700	
諸 会 費	63,000	
業務委託費	1,060,731	
リース 料	58,319	
租税 公課	405	
支払手数料	271,719	
交際費	1,000	
その他経費計	4,000,387	
管理費 計		14,077,095
経常費用 計		40,895,589
当期経常増減額		2,247,986
【経常外収益】		
経常外収益 計		0
【経常外費用】		
為替差損	283,822	
経常外費用 計		283,822
税引前当期正味財産増減額		1,964,164
法人税、住民税及び事業税		70,000
当期正味財産増減額		1,894,164
前期繰越正味財産額		34,663,046
次期繰越正味財産額		36,557,210

2021年度 計算書類の注記

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日策定 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準は原価基準により、評価方法は法定評価方法によっています。

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金・職員の退職給付に備えるため、退職金規程に基づく期末法人都合要支給額により計上しています。

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

(単位: 円)

科目	定款第5条第1項に係る事業 (A)			定款第5条第2項に 係る事業 (B)	定款第5条第3項 に係る事業 (C)		事業部門計 (A)+(B)+(C) =(D)	管理部門 (E)	合計 (D+E)
	ベトナム事業	カンボジア事業	ラオス事業	緊急支援	国内事業	収益事業			
I. 経常収益									
1. 受取会費	0	0	0	0	0	0	0	3,446,000	3,446,000
2. 受取寄付金	0	1,606,204	1,560,933	0	0	0	3,167,137	33,644,165	36,811,302
3. 受取助成金等	0	565,716	900,000	0	0	0	1,465,716	1,000,000	2,465,716
4. 事業収益	0	0	0	0	0	382,500	382,500	0	382,500
5. その他収益	0	0	0	0	0	3	3	38,054	38,057
経常収益 計	0	2,171,920	2,460,933	0	0	382,503	5,015,356	38,128,219	43,143,575
II. 経常費用									
1. 人件費									
給料手当	337,901	2,391,663	3,555,278	0	5,080,576	507,011	11,872,429	7,914,847	19,787,276
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	0	395,700	395,700
通勤費	9,247	61,349	61,349	0	75,402	10,658	218,005	193,842	411,847
法定福利費	51,884	367,015	388,829	0	834,102	79,865	1,721,695	1,458,491	3,180,186
福利厚生費	0	0	87,088	0	0	0	87,088	113,828	200,916
人件費 計	399,032	2,820,027	4,092,544	0	5,990,080	597,534	13,899,217	10,076,708	23,975,925
2. その他経費									
仕入高(売上原価)	0	0	0	0	0	241,073	241,073	0	241,073
印刷製本費	0	0	0	0	637,864	0	637,864	380,299	1,018,163
会議費	0	0	50,232	0	0	0	50,232	11,110	61,342
旅費交通費	0	257,840	47,501	0	0	0	305,341	8,532	313,873
通信運搬費	0	0	26,336	0	458,916	0	485,252	593,534	1,078,786
消耗品費	0	0	74,353	0	0	0	74,353	117,774	192,127
備品費	0	0	0	0	0	0	0	172,568	172,568
水道光熱費	12,999	83,192	83,192	0	67,593	12,999	259,975	111,416	371,391
地代家賃	115,500	739,200	821,546	0	600,600	115,500	2,392,346	990,000	3,382,346
理事会・総会運営費	0	0	0	0	0	0	0	145,280	145,280
保険料	0	16,840	5,783	0	0	0	22,623	14,700	37,323
諸会費	0	0	52,743	0	0	0	52,743	63,000	115,743
業務委託費	128,055	4,648,715	1,708,244	0	0	0	6,485,014	1,060,731	7,545,745
リース料	6,804	43,546	43,546	0	35,381	6,804	136,081	58,319	194,400
租税公課	0	0	1,896	0	0	0	1,896	405	2,301
支払手数料	19,000	81,323	52,770	0	22,963	1,540	177,596	271,516	449,112
交際費	0	4,320	21,364	0	0	0	25,684	1,000	26,684
広告宣伝費	0	0	0	0	1,187,932	0	1,187,932	0	1,187,932
新聞図書費	0	0	256,702	0	0	0	256,702	0	256,702
車両費	0	0	126,570	0	0	0	126,570	0	126,570
その他経費 計	282,358	5,874,976	3,372,778	0	3,011,249	377,916	12,919,277	4,000,184	16,919,461
経常費用 計	681,390	8,695,003	7,465,322	0	9,001,329	975,450	26,818,494	14,076,892	40,895,386
当期経常増減額	△ 681,390	△ 6,523,083	△ 5,004,389	0	△ 9,001,329	△ 592,947	△ 21,803,138	24,051,327	2,248,189

3. 使途等が制約された寄付金等の内訳

複数年度にわたり使途等が制約された寄付金等の内訳は以下のとおりです。当法人の正味財産は36,557,210円ですが、そのうち2,037,214円は、下記のように使途が特定されています。したがって使途が制約されていない正味財産は34,519,996円です。

(単位: 円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
●ラオス					
自治労東海地区連絡協議会 ピエンチャン都立図書館・多目的ホール運営管理費支援 (支援期間: 2018年11月～2021年10月)	199,969	280,000	227,591	252,378	
自治労新潟県本部 タトー村小学校図書館支援 (支援期間: 2018年11月～2021年10月)	49,976	-	36,980	12,996	
自治労青森県本部 ドンクワイ村小学校図書館支援 (支援期間: 2019年1月～2021年12月)	31,337	30,000	19,892	41,445	
自治労三重県本部 サンパナ村小学校図書館支援 (支援期間: 2019年9月～2021年8月)	52,303	-	45,670	6,633	
自治労東海地区連絡協議会 ナーハンケー村小学校図書室支援 (支援期間: 2018年11月～2021年10月)	99,511	100,000	80,316	119,195	
自治労広島県本部 サントン郡小学校図書室支援 (支援期間: 2020年1月～2024年12月)	853,499	-	108,761	744,738	
自治労広島県本部 サントン郡小学校図書室支援 (支援期間: 2020年1月～2024年12月) 自治労本部(調整費)	423,276	-	105,819	317,457	
富永誠治 思考とスキル向上のための読書推進プロジェクト (支援期間: 2020年1月～2024年12月)	-	1,000,000	365,699	634,301	
●カンボジア					
自治労福岡県本部 SCADPブノンベン児童保護施設支援 (支援期間: 2019年7月から2021年6月)	-3,065	300,000	301,253	-4,318	
一般社団法人鹿児島県労働者福祉協議会 (支援期間: 2012年4月から2025年3月)	-	300,000	297,379	2,621	
自治労岡山県本部 プレアビビア児童保護施設支援 (支援期間: 2018年10月から2021年9月)	-69,975	100,000	104,868	-74,843	
自治労熊本県本部 プレアビビア寺子屋事業 (支援期間: 2016年6月から2023年5月)	-	200,000	215,388	-15,388	
合計	1,636,831	2,310,000	1,909,617	2,037,214	

4. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

(1) 事業費と管理費の按分方法

- ・共通する経費のうち、給料手当、賞与手当、法定福利費、旅費交通費(人件費分)については、従事割合に基づき按分しています。
- ・共通する経費のうち、地代家賃、水道光熱費、リース料については、総額の30%を管理費に計上、70%を事業費(ベトナム、ラオス、カンボジア、国内、収益の各事業分に従事割合で按分)に計上しています。

財 産 目 録

特定非営利活動法人エファジャパン
全事業所

[税込] (単位:円)
2022年 3月31日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)		
商品券	1,500	
現 金	204,692	
普通 預金	33,075,823	
郵便振替口座	1,215,034	
定期 預金	1,227,900	
現金・預金 計	35,724,949	
(売上債権)		
未 収 金	324,157	
売上債権 計	324,157	
(棚卸資産)		
棚卸 資産	149,468	
貯 蔵 品	40,187	
棚卸資産 計	189,655	
(その他流動資産)		
前払 費用	278,000	
仮 払 金	675,945	
その他流動資産 計	953,945	
流動資産合計		37,192,706

【固定資産】

(投資その他の資産)		
敷 金	1,440,000	
投資その他の資産 計	1,440,000	
固定資産合計		1,440,000
資産の部 合計		38,632,706

《負債の部》

【流動負債】

未 払 金	564,913	
預 り 金	212,683	
未払法人税等	70,000	
流動負債 計		847,596

【固定負債】

退職給付引当金	1,227,900	
固定負債 計		1,227,900
負債の部 合計		2,075,496

正味財産		36,557,210
------	--	------------

正味財産中、使途等が制約された寄付金（指定正味財産）は 2,037,214円です。

監 査 報 告 書

特定非営利活動法人 エファジャパン
理事長 伊藤 道雄 様

2022 年 5 月 27 日

特定非営利活動法人 エファジャパン

監 事 宮原 朝香 
監 事 榎本 朋子 

2022年度予算

2022年度 予算

自 2022年4月1日 至2023年3月31日

(単位：円)

科目	2022年度予算額		2021年度決算
【収入の部】			
会費		3,410,000	3,446,000
正会員受取会費	1,300,000		1,368,000
シニア会員受取会費	300,000		318,000
賛助会員受取会費	310,000		300,000
団体賛助会員受取会費	1,500,000		1,460,000
寄付金		40,798,275	36,811,302
エファパートナー（個人）	250,000		314,000
エファパートナー（団体）	980,000		840,000
ベトナム事業	50,000		0
ラオス事業	1,324,775		1,560,933
カンボジア事業	1,726,220		1,606,204
その他（一般寄付等）	36,467,280		32,490,165
助成金等		4,900,000	2,465,716
助成金	4,900,000		2,465,716
普及啓発事業（収益事業）		1,132,000	382,500
エファグズラオス	52,000		17,900
エファグズカンボジア	80,000		6,600
エファグズ国内	1,000,000		358,000
その他収入		120,000	38,057
その他収入（講演等）	120,000		38,057
収入合計		50,360,275	43,143,575
科目	2022年度予算額		2021年度決算
【支出の部】			
事業費			
海外事業		12,459,074	8,935,450
ベトナム	71,921		147,055
ラオス	5,802,981		3,779,357
カンボジア	6,484,172		5,009,038
在日外国人支援	100,000		0
緊急支援	0		0
国内事業		4,849,930	2,309,215
収益事業		857,400	241,073
事業費合計		18,166,404	11,485,738
管理費			
（人件費）		24,324,505	22,703,408
給料手当	17,407,440		16,699,744
賞与	2,550,800		1,923,917
退職給付費用	477,483		395,700
通勤費	517,752		411,847
法定福利費	3,253,029		3,158,372
福利厚生費	118,000		113,828
（その他経費）		6,181,960	6,706,443
印刷製本費	460,500		380,299
会議費	42,000		11,110
旅費交通費	360,000		8,532
通信運搬費	495,800		593,534
消耗品費	150,000		117,774
備品費	0		172,568
水道光熱費	410,160		371,391
地代家賃	3,300,000		3,300,000
広告宣伝費	6,000		0
理事会総会費用	134,200		145,280
新聞図書費	20,000		0
保険料	18,500		14,700
諸会費	83,200		63,000
研修費	20,000		0
業務委託費	160,000		1,060,731
リース料	194,400		194,400
租税公課	3,000		405
支払手数料	289,200		271,719
交際費	20,000		1,000
雑費	15,000		0
管理費合計		30,506,465	29,409,851
経常外費用（為替差損）			283,822
税引き前支出合計		48,672,869	41,179,411
法人税等		70,000	70,000
収支差額		1,617,406	1,894,164



すべての人々に、^{ちから}力を。

エファは、SDGsの達成に向け行動します。

**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS**



特定非営利活動法人エファジャパン 2021年度年次報告書

発行 特定非営利活動法人エファジャパン 2022年8月15日

〒102-0074 東京都千代田区九段南3-2-2 九段宝生ビル3階

電話 03-3263-0337 FAX 03-3263-0338 E-mail info@efa-japan.org

ホームページ <https://www.efa-japan.org>